

社会科グループ

研究授業①

※同一單元の中で2回の研究授業

【日時】：9月29日（水）

【対象学年】：高等部3年 2G社会
3名（知的1）

【題材】：「特色ある街づくりと観光」

【ねらい】：身の回りの社会の仕組みや公共
施設について学ぶ。

【内容】：白老町の場所や観光について学ぶ。

見学旅行の学習とリンク

1 回目の授業

1回目の授業後の話し合い

(授業評価と次回の授業に向けて)

授業評価の視点	評価
物理的環境支援	<ul style="list-style-type: none">・立ち上がる児童が多いので、机を近くにするなど配慮している。 →近くで教材を見て注目させることも可能ではないか。
補助的手段	<ul style="list-style-type: none">・始めのあいさつの後、いきなり映像に入ったが、生徒は理解しているか？ → 興味をひかせるような言葉かけが必要。
人的支援	<ul style="list-style-type: none">・映像（動画）は使用しているが、教師は無言で、流しっぱなしになっている。注目させたい場面で止めるなどの工夫が必要。・生徒が受け身になっている時間が多いが、どのように理解をさせるかを考えていく必要がある。 → 作業をする場面を取り入れると良いのではないか。 <ul style="list-style-type: none">・MTとSTの役割分担が必要ではないか。（特に配慮が必要になる生徒に対しての対応）
学習機会	
多様な評価	

研究授業②

【日時】：10月7日（木）

【対象学年】：高等部3年 2G社会
3名（知的Ⅰ）

【題材】：「特色ある街づくりと観光」

【ねらい】：身の回りの社会の仕組みや公共施設について学ぶ。

【内容】：札幌市の特徴について知り、ポスターを製作する。

2回目の授業後の話し合い (1回目の反省を踏まえた授業評価)

授業評価の視点	評価
物理的環境支援	<ul style="list-style-type: none">・製作活動でポスターの完成となる見本があると良かった。
補助的手段	<ul style="list-style-type: none">・1回目同様、動画は生徒の興味をひいていたので良かった。・動画を視聴する際に、ポイントとなるところを声かけをしながら授業を進めていたので生徒が注目しやすかった。
人的支援	<ul style="list-style-type: none">・MTとSTの役割分担がすっきりした。・1回目に話題になっていた製作活動（ポスター作り）を取り入れていたので、興味関心をもちながら活動に取り組むことができていた。
学習機会	
多様な評価	<ul style="list-style-type: none">・「どっち？」と聞かれている場面があったが、選べる実態なのかがビデオを通してでは分かりづらかった。 <p>→左手で対象物を触って選ぶことができる。 自分なりに考えて選択することができる。</p>

年間指導計画での配列の工夫

高等部 3 学年 2 G 社会科年間指導計画 (抜粋)

月	単元名・題材名	学習のねらい
4 5	選挙権と選挙 ・生徒会選挙 ・自分の暮らし、働くということ 投票の仕方、自ら選ぶ	知) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつこと。 思) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする事。 学) 教師と一緒に身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて調べたり、体験したりすることができる。
6 7	日常生活を支える事業 ・水道、電気、ガス 卒業後の進路 (仕事)	知) 日常を支える事業 (水道、電気、ガス) について知ること。 思) 日常を支える事業について興味をもつこと。 学) 教師と一緒に日常を支える事業について調べたり、調べたことを発表したりすることができる。
8 9 10	特色あるまちづくりや観光 見学旅行、街チャレ	知) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつこと。 思) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする事。 学) 教師と一緒に身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて調べたり、体験したりすることができる。
11 12 1 2 3	外国の様子 ・世界の出来事 ・ノーベル賞、国際スポーツ 振り返り	知) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつこと。 思) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする事。 学) 教師と一緒に身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて調べたり、体験したりすることができる。

【意見】
 卒後の進路と密接に関連する単元「日常生活を支える事業」を最後にもって行って、まとめにつなげて良いのでは？

【成果】

- ・ 社会科の授業づくりの5つの視点について交流し、深めることができた。

補助的手段－視覚教材

「動画の活用について」

- ・ 公的（行政）の動画の活用
- ・ 時間配分の工夫（2～3分）
- ・ 動画と静止画（3枚程度）を使い分けると伝えたいことを強調できる。

【課題】

- ・ 他教科との関連
生活単元学習や英語との区別が難しい。